

今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を
一部紹介します。

「フロムに学ぶ「愛する」ための心理学 鈴木 晶 著／NHK 出版(152－フロム)	学校では教えてくれない！英文法の新常識 鈴木 希明 著／NHK 出版(835－スズキ)
知識ゼロからの天皇の日本史 山本 博文 著／幻冬舎(288－ヤマモ)	次の人、どうぞ！ 酒井 順子 著／講談社(914. 6－サカイ)
キャッシュレス覇権戦争 岩田 昭男 著／NHK 出版(338－イワタ)	壺中に天あり獣あり 金子 薫 著／講談社(F－カネコ)
学習障害のある子どもを支援する 宮本 信也 編／日本評論社(378－ガクシ)	忠義に死す 島津豊久 近衛 龍春 著／KADOKAWA(F－コノエ)
ベンゼン環の化学 齋藤 勝裕 著 技術評論社(438－サイト)	予言の島 澤村 伊智 著／KADOKAWA(F－サワム)
弱った心臓を守る安心ごはん 佐藤 直樹 病態監修 他／女子栄養大学出版部(493－ヨワツ)	カインの子どもたち 浦賀 和宏 著／実業之日本社(PF－ウラガ)
間違いだらけの車いす選び 松永 圭司 著／幻冬舎メディアコンサルティング(536－マツナ)	殺人は女の仕事 小泉 喜美子 著／光文社(PF－コイズ)
文字のデザイン デザインノート編集部 編／誠光堂新光社(727－モジノ)	坊さんのくるぶし 成田 名璃子 著／幻冬舎(PF－ナリタ)

浪漫紀行 福島

2019 年 2 月 28 日、2020 年の NHK 朝の連続テレビ小説が古閑裕而夫婦をモデルにした「エール」に決まったと発表され、大きな話題となりました。古閑裕而は、福島市出身の作曲家です。オリンピックマーチや阪神タイガースの歌(六甲おろし)など今も愛され続けている数多くの名曲を作曲し、その功績から福島市名誉市民第 1 号となりました。

古閑裕而記念館は彼の栄誉を称え、1988 年 11 月 12 日にオープン。レコードや楽譜など貴重な資料を展示した展示室、古閑裕而が作曲していた書斎をそのまま再現した記念室、最大 100 名が収容できるサロンなどがあります。サロンではミニコンサートが開催されており、市民が音楽と触れ合う場となっています。今こそ、古閑裕而記念館を訪れてみませんか？

参考文献:『鐘よ鳴り響け』 福島市・福島市教育委員会 編 / 福島市(K762－カネコ)

クイズの答え

1－B、 2－D、 3－A、 4－E、 5－C

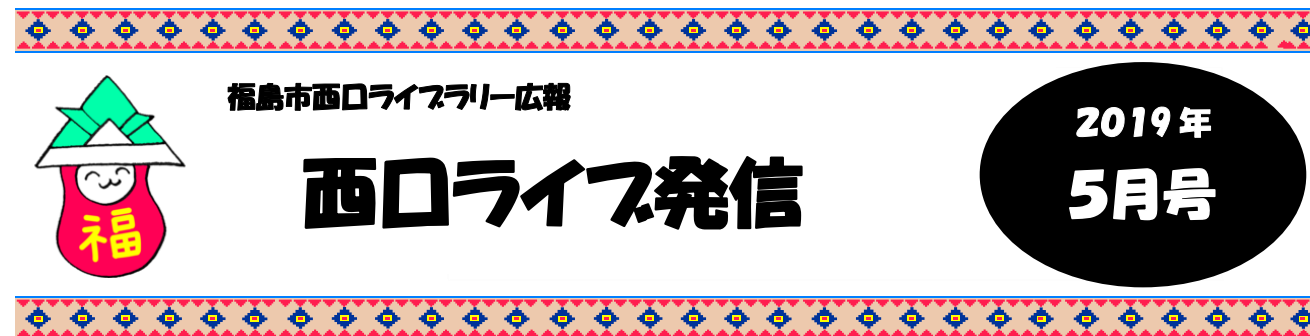
図書館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

 印は休館日

2019 年 5 月 1 日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町 1－2 0
TEL 024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町 1－1
TEL 024-531-6551
ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



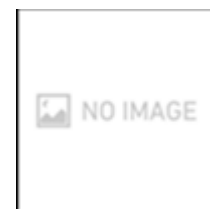
今月の新着本案内



『ウチらは悪くないのです。』

阿川 せんり 著／新潮社(F－アガワ)

友人の上田と気ままな大学生活を送っていた朝倉。しかし、初めての彼氏ができたことで日常は一変してしまう。周りの女子からの圧力に苦しみながら、朝倉は青春を謳歌しようとするが…。北海道を舞台にしたアンチ青春小説。



『リンパ浮腫のことがよくわかる本』

宇津木 久仁子 監修／講談社

(493－リンパ)

がんの治療後、発症する可能性があるリンパ浮腫。慢性的なむくみが生じ、悪化すると生活に支障をきたす場合があります。

本書では、リンパ浮腫がどのようなものかを明らかにし、予防や重症化を防ぐための改善策などを紹介します。



『少ない物で「家族みんな」がすっきり暮らす』

やまぐち せいこ 著／ワニブックス(590－ヤマグ)

消耗品のストックは1つだけ持つ、家族で家事をシェアする…。ミニマリストである筆者が、収納のルールや家事の方法を綴ります。ただ物を減らすだけでなく、より生活が豊かになるための実用的な一冊です。

～「朗読会 ことのはの時間」開催のお知らせ～

大人のための朗読会で、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか？

日時 2019年6月22日(土)午後2時30分～3時15分

場所 コラッセふくしま3階 302会議室

参加費は無料、申込不要です。

プログラム

・「形」(菊池 寛 著 『藤十郎の恋・恩讐の彼方に』より)

他

展示★名作案内 Cafe&Bar

くつろぎのひとときを

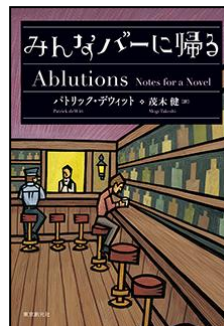


『もう一杯飲んで帰ろう。』

角田 光代・河野文洋 著／新潮社
(596-カクタ)

小説家の妻とミュージシャンの夫。仕事も違えば、食の好みも違う二人だけれど、人と飲むのが大好きなところはよく似ている。

近所の居酒屋から海外のバーまで、お気に入りのお店を夫婦それぞれの目線で語るエッセイ。



『みんなバーに帰る』

パトリック・デウィット 著 茂木 健 訳
山崎杉夫 装画 中村聡 装幀
東京創元社(933-デウイ)

ハリウッドの場末のバーで「君」はバーテンダーの補助として働いている。夜な夜な店に訪れるのは、他の店を追いつかれたような、とんでもない客ばかりで…。

登場人物たちが、酒やドラッグに溺れる様子を淡々と活写する。



『虹の岬の喫茶店』

森沢 明夫 著／幻冬舎(F-モリサ)

陶芸家の大沢は妻を亡くし、娘と二人きりの生活に不安を抱えていた。ある日、娘と気分転換に出かけた先で、とあるカフェへと辿り着き…。(「《春》アメイジング・グレイス」より)

音楽とおいしいコーヒーが味わえる岬カフェを舞台に、悩みを抱える人々が再生する、切なくも心温まる物語です。



『珈琲が呼ぶ』

片岡 義男 著／光文社
(914. 6-カタオ)

作家・片岡義男が、音楽や映画、漫画の中に登場する憧れのコーヒー、なじみの喫茶店でひとコマなど、コーヒーにまつわる悲喜こもごもを語ります。

読んでいるとコーヒーの香りがただよってくるような一冊です。



『カフェをはじめる人の本』

成美堂出版編集部 編／成美堂出版
(673-カフェ)

東京や地方で夢をかなえた店主たちが、開業のノウハウを紹介。物件の決め方や開業資金についてなど、オープンまでの道のりを詳しく知ることができます。カフェの裏側を知りたい方にもお薦めです。



書くひとの館

135号室

須賀 しのぶ
(すが しのぶ)

1972年、埼玉県生まれ。1994年『惑星童話』でコバルト・ノベルス大賞読者大賞を受賞しデビュー。2007年より一般文芸に移行。2013年『芙蓉千里』でセンスオブジェンダー賞、2016年『革命前夜』で第18回大藪春彦賞など多数受賞。

～その他の作品～

『キル・ゾーン』シリーズ

『神の棘』2010年

『また、桜の国で』2016年 など

革命前夜

文藝春秋(F-スガシ)

ピアニストの眞山柊史(しゅうじ)は、音楽留学のため、敬愛するバッハの故郷である東ドイツへ渡る。そこで同世代の音楽家たちと出会い刺激を受けるも、自身の音楽の在り方に苦悩する。また、当時の東ドイツでは監視や密告などが横行し、ある出来事から、柊史も国家保安省の監視対象となる。時代の渦に巻き込まれる彼の運命とは…。

ベルリンの壁の崩壊前のドイツを舞台に、一人の青年の成長を描く。

～隠し部屋～

幼少期、本に没頭しすぎる娘を案じた親により、本をあまり与えて貰えなかった。学校でも小学1年生は図書室の利用が禁止されており、本が読みたい作者は、友達と図書室へ忍び込む。その際、興奮して鼻血を出してしまった。

クイズ解かっせ

カクテルと、ベースになっている酒を下記から組み合わせてください。

- ① モッキンバード
- ② バラライカ
- ③ サイドカー
- ④ エックス・ワイ・ジィ
- ⑤ マティーニ

- A：ブランデー
- B：テキーラ
- C：ジン
- D：ウォッカ
- E：ラム



※答えは最後のページ